

CKJSだより

第46号

校長 松平 昭二

shoji_matsudaira@hotmail.co.jp

「寛容ラップ」の教え

今は、アメリカにいても日本のテレビがライブで観られる時代になりました。少し前になりますが、民放番組のCMで「寛容ラップ」というのが流れました。公益社団法人ACジャパンのCMです。テレビ編とラジオ編があり、コンビニ店でのおばあさんと男性のラップでのやり取りは誠に秀逸です。

テレビCMでは、おばあさんがレジの前で財布から小銭をなかなか取り出せない場面から始まります。「ごめんなさいね、遅くてね」と何度も詫びるおばあさん。後ろの列に並んでいるのが、オールバックにサングラスの長身、こわもての男性。ラジオ編では男性が「何会計もたついてんだ、あのおばあさん、ひとこと言ってやるか」とつぶやき、ラップのリズムに乗って声をかけます。

「♪ Yo! もしかして焦ってのかおばーさん 誰も怒ってなんかない あんたのペースでいいんだ 何も気にすんなよ♪」

すると、おばあさんもラップで、「♪ 迷惑かけてしまってるなって焦ったらまさかの優しい発言 アタシも反省 見た目判断♪」と返答。男性は「みんな違うのあたりまえ」、二人は「一人一人に リスペクト」とグータッチ。最後にレジの店員が、「♪ たたくより たたえ合おう♪」と熱唱するCMです。



感嘆しました。実に素晴らしいCMです。「たたくより たたえ合おう」本当にいい言葉です。我が身を振り返り反省しました。小さなことでイライラしたり怒ったりしないで、相手の身になって考えよう。そう思わせる心温まるCMでした。多様性が重視される社会、みんな個性は異なります。髪の色も皮膚の色も違います。ハンディキャップのある人もいます。大人は子どもにこのCMを見せるべきだと思ったほどです。

不公平や不公正なことに怒りの声を上げることは当然ですが、「弱者」に対しては寛容であるべきです。高齢者や障害者、貧しい人、マイノリティの人たち等には温かいまなざしを向けましょう。それが多様性を重んじ、差別のない優しい社会の実現につながるのです。

※ 5/9(火)から 5/19(金)の平日、図書室は 現地校が使用するため 利用できません。ご不便をおかけしますが、よろしく申し上げます。